

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地域防災論		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

わが国は、立地特性から、地震や火山、台風などの自然災害、さらに人為的原因による大事故や公害など多種多様な災害による被害を受けてきた。今後のまちづくりを考えるうえでは過去の災害経験を学んだうえで、「防災」を考慮することは欠かせない。そこで本講義では、防災の基礎的な事項について学習する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義を中心にすすめるが、各回の課題(ワーク)テーマについてアイデア出しのグループワークを行ったり、意見発表や共有のためのディスカッションを行う。 授業回の二分の一を超えない(7回以下)範囲で、オンライン(リアルタイム)で行うことがある。対面授業と同様の講義の質、双方向コミュニケーションを確保する。 また、授業資料(教材)また課題については、すべてLMS上におく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス 地域防災の使命について	地域防災の使命・学びの全体像についてガイダンスを行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	気象災害・風水害	日本の気候、地域特性と風水害の関係、災害をもたらす気象現象、地球の温暖化と異常気象、水防活動などの水害対策について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	土砂災害	土砂災害はどのような現象が発生するのか、またその特徴は何か、土砂災害対策にはどのような対策があるのか、について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	火山災害	活火山、火山噴火の様式、前兆現象、火山噴火による災害と予知について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	震災火災・住宅火災	火災の発生メカニズム、防火の原則、主な火災の事例と、そこから学ぶこと、火災の種類と防火対策のポイントについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	災害情報の活用と発信	災害情報、被災者の情報ニーズ、災害情報提供の方法災害情報の新しい伝達手段について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	行政の災害対策と危機管理	災害対策基本法、防災に関する行政組織、平常時に行っている防災対策、行政の災害時受援体制の必要性について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	ライフライン・交通インフラの確保	電力供給、電気災害の防止、都市ガスの供給停止と復旧、上下水道設備の被災、災害時の情報収集・安否確認に役立つ通信サービスについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	地震・津波への備え	地震・火災に備えて事前にやるべきこと、被災後の暮らしを守るためにやるべきこと、について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	地域防災と多様性への配慮	自主防災組織、企業と自主防災組織の連携、大学・学校を拠点とした活動、災害時要配慮者に対する支援について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	ジオパークと防災	地球科学的な価値を持つ遺産を保全し、教育やツーリズムに活用しながら、持続可能な開発を進める地域認定プログラムであるジオパークを通して、防災について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	近年の自然災害に学ぶ	近年の地震・津波災害・火山噴火、土砂災害とその教訓について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	災害と流言・風評	「流言」とは何か? 風評被害とは何か? パニックが起きるのはどんなときか? 群衆と群集心理、パニック発生条件について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	災害と危機管理	危機とは何か? 危機管理活動の内容、行政組織の危機管理活動の特徴、危機管理をめぐる課題について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のふりかえりとまとめ	授業全体をふりかえり、地域防災の役割についてまとめる。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の授業の課題テーマに関して、配布資料などを参考に、書籍、メディア、インターネットなどで情報を収集し、関連する知識を得ておく（2時間）。各回の授業後、課題テーマに対する意見共有・ふりかえりを踏まえて、自分自身の意見・見解をまとめておく（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業の課題テーマに関する意見発表・全体での共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行う。次週の授業において、次のテーマへの関連する視点やポイントについて提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	地域社会の公共私における防災分野の「自助・共助・公助」の役割の問題意識を持ち、要援護者支援、生活支援、復興・復旧に向けた解決方法を探求できる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	防災・減災に関する多様な価値観を共有し、地域社会において、自発的に人々と協働して地域貢献ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各授業回ごとに、Teams上に、授業内課題、小テスト、および記述式課題を掲載するので、授業翌週回までに提出すること。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業において資料を提示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	社会応援ネットワーク、諏訪 清二（監修）（2022）『図解でわかる 14歳からの自然災害と防災』太田出版	978-4778317935
2	気象庁・防災情報 https://www.jma.go.jp/jma/menu/menulash.html	
3	東京海上ディーアール株式会社（編集）（2022）『これだけは知っておきたい リスクマネジメントと危機管理ガイドブック』同文館出版	978-4495390662
4	矢守 克也（2011）『“生活防災”のすすめ—東日本大震災と日本社会』ナカニシヤ出版	978-4779505706
5	尾池 和夫（2012）『四季の地球科学 日本列島の時空を歩く』岩波新書	978-4004313793